

研究課題名：新型コロナワクチンの重症化に対する有効性の検討

研究の目的と方法：

2019年12月に発生が確認された新型コロナウイルス感染症は、世界的に大きな問題となっています。2021年には複数の新型コロナワクチンが国内でも導入され、これらのワクチンは様々な研究において、高い発症予防効果を示しており、諸外国における初期の観察研究からは高い重症化予防効果が認められました。しかし、ワクチン効果に影響を与えうる変異株が複数見つかかり、ワクチン効果の減衰も懸念されています。そこで、本研究では、当院を含む共同研究医療機関における診療録（カルテ）等の記録を用いて、新型コロナワクチンの重症化予防効果を検討します。本研究の結果は、新型コロナウイルス感染症対策に非常に有用な知見をもたらす可能性があり、社会的意義は非常に大きいと考えます。研究の成果が学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。この研究のために情報を提供するかどうかは、患者様の自由意思です。提供しないことにより不利益を被ることは一切ありません。その場合には、患者様本人、もしくはその代理人の方から当院へお申し出ください。すでに学会発表や論文、報告書等として公開された結果については撤回しかねますのでご了承ください。

研究の対象者及び対象期間：

2021年4月1日～2024年12月31日に当院に入院された方。

研究に利用する試料・情報：

各医療機関のカルテ等に記載のある臨床情報（年齢、性別、ワクチン接種歴等）を収集します。ワクチン接種歴等カルテ等に記載がない場合は、確認のために医療機関の担当者等から本人・親族に連絡がある可能性があります。国立感染症研究所には個人が特定されないように匿名化された情報が送られ、解析されます。

研究全体の管理責任者：

国立感染症研究所 感染症疫学センター 鈴木 基

お問い合わせ先：

研究責任者

奈良県総合医療センター 救急・集中治療センター長 安宅 一晃

研究実施者

奈良県総合医療センター 集中治療科 日垣 太希